

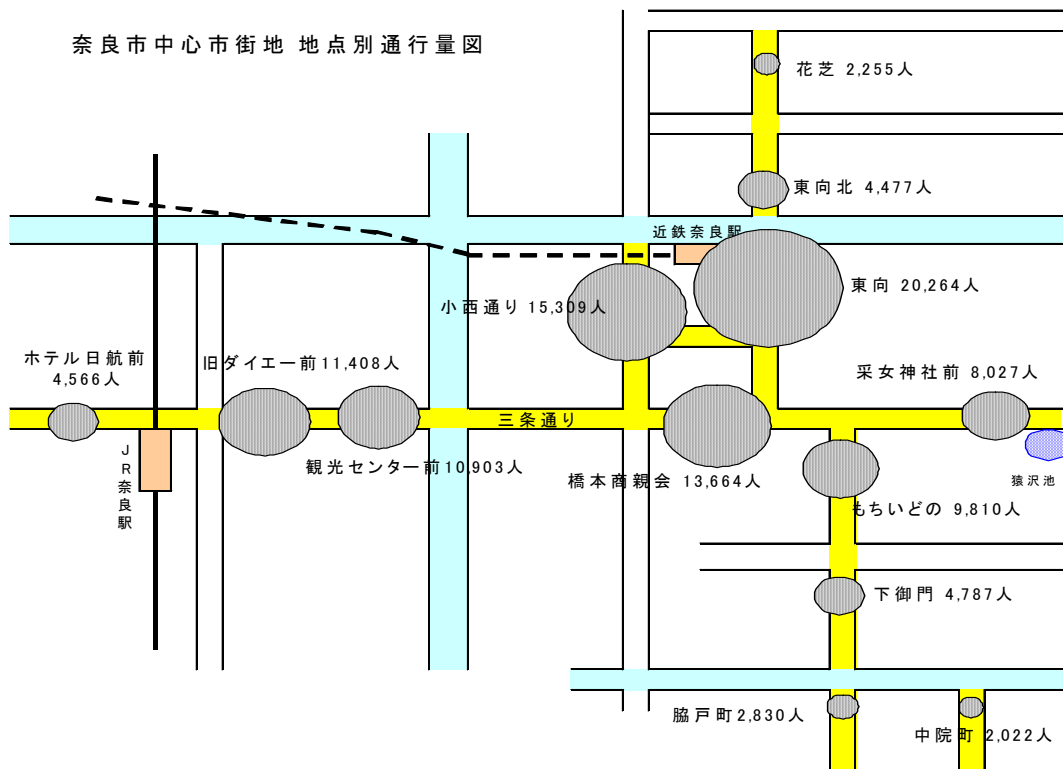
## 奈良市中心市街地通行量調査(速報)

奈良市中心市街地の通行量調査が、今年も猛暑の中8月10日(日)に13地点において実施されました。本年は、従来の調査地点9地点から4地点増加した計13地点で奈良市中心市街地活性化研究会の協力のもとに実施されましたが、その中間報告がまとまりましたので報告します。

なお、正式な報告は報告書がまとまった段階でさせていただきます。

また、お問い合わせ等は、中心市街地活性化協議会事務局までご連絡下さい。

### 1. 調査地点と地点別通行量図



### 2. 調査結果の概要報告

#### ◆ 主要地点で大きく増加する通行量

(前年に比して11.1%増)

主要9地点の通行量は、延べ92,877人で、前回調査時(平成19年)の83,577人に比して+11.1%と大幅な増加となった。前年に比して通行量が増加する傾向は昨年の調査からも見られているが(昨年は対前年比+1.9%)、このように10%を超える大幅な増加は、極めて異例なことといえる。

これまでの奈良市中心市街地内の通行量は、昭和52年時をピークとして一貫して減少を続けてきたが、平成17年頃より横ばい、そして平成19年に微増となり、今年には11.1%の大幅増加となった。これによって、奈良市中心市街地の賑わいは復活したかといえ、後述するような条件下の要因もあり、必ずしもそのように捉えられない現状もあり、今後のまちづくりなどの成果も注目されることである。



もちいどのセンター街 奈良マーチャントシードセンター前

#### ◆ 増加地点は、中心部から周縁部まで

##### 幅広く広がり面的拡大が進む

通行量の最大地点は、近鉄奈良駅を基点とする東向商店街であり、平成3年度以来、17年ぶりに2万人台を回復し対前年増加率も+15.7%と平均値を上回っているなど中心市街地での地位は不動である。

ただ、9地点での東向商店街の占める割合は+21.8%と昨年の+21.0%とそれほど変化はみられない。

このことは、他地域も同様に増加していることを示すものであり、現に、2番手の小西通り商店街も対前年比+7.3%と増加を示し、他にも橋本商親会(同+15.0%)、三条通りショッピングモール旧ダイエー前(同+12.3%)、三条通りショッピングモール観光センター前(同+12.9%)など軒並みに増加となっている。

そのほか、もちいどのセンター街、下御門商店街なども下記のとおり大幅な増加となっている。

#### ◆ もちいどのセンター街、下御門商店街の賑わい化がなお進んでいる

昨年注目された中心市街地の南側に広がるもちいどのセンター街、下御門商店街は今年も更に大幅な増加を示した。もちいどのセンター街が対前年比+16.9%、下御門商店街+23.3%と増加率だけで見ると、9地点中トップと2位を占めている。

これらの背景としては、ならまちの賑わい化が大きな要因を占めているものと思われ、今回、そのような観点から調査地点をならまちに2ヶ所設けたが、量的には2,000人台と今後への期待値であった(全体では4ヶ所の調査地点新設)。

ただ、ならまちの賑わい化とは別に、もちいどのセンター街の活性化、活性化の要因も挙げなければならない。

「夢キューブ」というチャレンジショップの開設後、商店街内ではテナントリーシングが進み、長年の課題であった最奇性業態としての「スーパーマーケット」の開店など空き店舗が解消されるなど、新しい動きが加速していることは地域の賑わい化を推進するものとして注目される。

このような周縁商店街の頑張りは、中心市街地内の面的拡大に大きく貢献することとなり、商業地の拡大としてより好ましい状況といえよう。

#### ◆ 増加要因は、燈花会の盛況と

##### 新しい奈良飛躍の芽生え?

このような大幅な通行量増加の要因について考察してみると、次のとおり推定される。

#### ① 燈花会の盛況

燈花会の主催者が発表したように、今年は多くの観光客が鑑賞しており、人出はとくに多かった。時間帯通行量でも午後5時からの計測値が異常に増加しており、燈花会の観光客が数値を押し上げたと考えて良いだろう。

#### ② 奈良訪問ビジターの増加

奈良観光が新しいビジター創出という新たな節目を迎えている。それらは、

- テレビドラマ「鹿男あおによし」効果ともいうべきもので、ドラマの撮影地が脚光を浴び新しい奈良の魅力が発信されつつある。
- ビジットジャパンなど外国人観光客誘致を国を挙げて推進している効果といえようか外国人訪問者が奈良でも著しく増加し、新しい顧客層として注目されており、今夏の奈良は例年になく外国人観光客が多くなった。

#### ③ ならまちなど新しい魅力地への誘因

このような、新しいビジターにとっての魅力地の一つにならまちがある。年々ならまちへの訪問者が増加し、まちは賑わいを見せている。その経路であるもちいどのセンター街、下御門商店街など通行量が著しく増加し、新しい奈良の観光地として定着しつつある。



④ 既存商業地域の復興

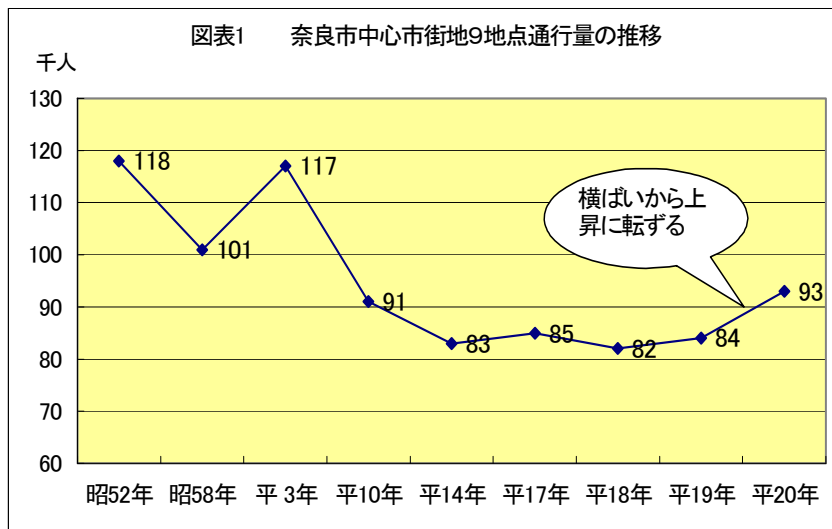
市街地の通行量が増加することの大きな要因は、やはり商業地域の頑張り。前述のもちいどのセンター街の再生と活性化や小西通り商店街の100店舗を超える集積など、多様な選択に応えられるまちづくりが徐々に進んでいることの意味は大きい。

今後においても、三条通りの拡幅やJR奈良駅の高架などまちの変革が予定されており、さらなる復興に期待したい。

なお、この最終報告については正式報告書がまとまった段階で公表する予定になっています。



東向商店街 経済会館前



図表2 平成20年度奈良市中心商店街通行量(過去の調査と比較)

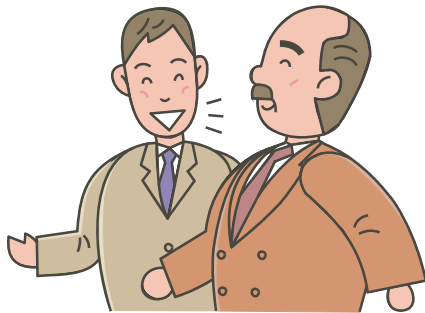
商店街名 (調査地点)	昭和52年		平成3年度		平成10年度		平成14年		平成18年		平成19年		平成20年	
	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数
花芝商店街	3351	100	2795	83.4	2622	78.2	3174	94.7	-	-	2893	86.3	2,255	67.3
東向北商店街	7018	100	5486	78.2	4467	63.7	4853	69.2	3479	49.6	4926	70.2	4,477	63.8
東向商店街	22536	100	23298	103.4	18451	81.9	15818	70.2	18009	79.9	17513	77.7	20,264	89.9
小西通り商店街	20990	100	18233	86.9	12256	58.4	14171	67.5	14363	68.4	14269	68.0	15,309	72.9
橋本商親会 南都銀行前	14671	100	18633	127.0	13247	90.3	8683	59.2	12533	85.4	11882	81.0	13,664	93.1
もちいどの センター街	14308	100	12969	90.6	9061	63.3	8148	56.9	7383	51.6	8394	58.7	9,810	68.6
下御門商店街	3043	100	3246	106.7	2645	86.9	1995	65.6	3420	112.3	3881	127.5	4,787	157.3
三条ショッピング ダイエー前	21856	100	18125	82.9	17158	78.5	16172	74.0	9618	44.0	10160	46.5	11,408	52.2
三条ショッピング 観光センター前	10951	100	13778	125.8	11324	103.4	10392	94.9	9751	89.0	9659	88.2	10,903	99.6
9地点の計	118724	100	116563	98.2	91231	76.8	83406	70.3	78556	66.2	83577	70.4	92,877	78.2
ホテル日航前													4,566	-
采女神社北側													8,027	-
ならまち脇戸町													2,830	-
ならまち中院町													2,022	-

## あなたの街の商店街活性化にお手伝いします

活性化協議会は、9月17日に奈良マーチャントシードセンターで、基本計画区域内の23商店街等を対象として開催した「今年度事業計画説明会」において、今年度からの新規事業である「奈良市中心市街地商店街まちづくり推進事業」の実施要領を発表しました。

この事業は、

- ① 本年3月の奈良市が策定した「中心市街地活性化基本計画」区域内の商店街等で、「基本計画」に記載されている事業計画の具体化を図るための取り組みなどに課題を抱えている。
- ② 新たに「基本計画」に参入して、活性化に取り組んでみたいが、その方法がわからないと言った商店街等々に対して、当協議会の方から商店街等が抱えている課題・問題点等に応じてアドバイスの出来る専門家を派遣する事業で、一言で言えば「出前出張相談」のようなもの。実施概要は次の通りです。



- 1) 実施期間 平成21年2月下旬頃まで
- 2) 実施場所 ①あなたの商店街へ外向きます。  
②奈良商工会議所の会議室。  
③奈良マーチャントシードセンター。  
(いずれかご希望の場所で)
- 3) 実施内容 ①ご相談希望の約1ヶ月前までに所定の用紙に必要事項を記載の上、活性化事務局に申し込み。但し、アドバイザーの日程、会場の都合などで希望日を調整させていただく場合もあります。  
②アドバイザー及び会場の手配・申請は事務局でおこない、要する経費は協議会が負担します。  
③相談時間は、2時間以内とします。  
④本年度の実施回数は予算の都合上、各商店街1～2回程度とし全体で10回以内とさせていただきます。

この制度の活用を希望される商店街等(基本計画区域内に限る)がございましたら、活性化協議会までご連絡下さい。

【奈良市中心市街地活性化協議会事務局】

TEL 0742-26-1666

Eメール narachukatsujimu01@yahoo.co.jp

## 商店街「おもてなし標語」の募集のお知らせ

社団法人奈良市商店街振興会では、全国高校総体や平成京遷都1300年、世界歴史都市会議など記念すべき祭典を控え、地域をあげて訪れられた皆さんを快くお迎えする仕組みづくりを図るため、商店街「おもてなし標語」を平成20年10月10日～11月末日まで必着で、広く募集されます。ただし未発表の作品に限り応募作品は、返却されないとのことです。ハガキー一枚、電子メール一件につき、標語は3作品まで記載可能で結果発表は、同商店街振興会ホームページ上で平成21年2月上旬に発表予定とされております。

### 【応募先】

#### ●ハガキの場合

〒630-8214 奈良市東向町30番地2

商振会ビル4F

(社)奈良市商店街振興会 事務局

#### ●電子メールの場合

Eメール : omotenashi@nara-shoushinkai.or.jp

詳しくは、同商店街振興会(TEL0742-22-1581 : FAX0742-27-7141)までお問い合わせください。